



おおにしだより

第37号

平成26年 7月14日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

夏休みを迎えるにあたって

平成26年度をスタートさせる始業式、子どもたちに次のようなことを話しました。

【人との出会いを大切に】【自分から進んで勉強】【いろいろなことに挑戦】

同様に本校教職員にも、次の指示をいたしました。

【合言葉は「チームおおにし」】【和をもって子どもの教育に全力投球】

そして、4カ月が経過しました。1学期に実施された数々の行事、教育活動の様子、校外における活動の報告から、学年・学級の協力、助け合う様子、担任の指示が素早く子どもたちに届いて学習に向かう姿等を感じ取ることができました。あいさつも、立派にできるようになってきました。そのような子どもたちの姿を確認することができ、校長として大変うれしく思います。今後も、より一層、力を尽くしてまいりたいと考えます。

小学校教育における最も大事なこと、それは、子どもたちに人としてのあり方、あるべき姿を教えることに尽きると思います。それは、子どもたちと担任が、子どもと親が、担任と保護者が、一緒になって、互いの気持ちを通わせ合って進むことによって達成されます。今後とも、ご協力をお願いいたします。



水辺の生き物調査



県民の日〇×クイズ

さて、夏休みは、子どもたちにとって、家族との生活時間が最も長くとれる時期でもあります。【お父さんは、こんなことを教えてくれた】【お母さんは、いつもこんなことを言っていた】・・・親から子に伝えるべきことを、しっかりと子どもたちの心に刻みつけたいものです。『人のぬくもりは、心と心のスキンシップ』です。どうぞ、心のキャッチボールで素敵な夏休みを。そして、“**家族の絆**”を確認し、深めてください。

子どもたちにとって、待ちに待った夏休みを迎えるにあたり、保護者の皆様をお願いをいたします。小学生のこの時期に、しかも、成長期にあるこの時期に欠かすこのできないこと、それは、太陽の光を十分に浴びて、体を動かすことです。

日中、太陽の光を浴びることが睡眠を誘発します。十分な睡眠を確保すれば、睡眠中にホルモンが分泌され、このホルモンが体や脳の成長を促すのだそうです。

まさに、【寝る子は育つ】です。そして、「早寝 早起き 朝ご飯」。暑いから夏休みが設けられているのですから、お昼寝もよいでしょう。しかし、ゲームに夢中になって夜更かしをするなどせず、規則正しく生活してほしいと思います。

夏休みは、7月21日（月）から8月31日（日）の42日間ですが、土・日が入るため、実際には44日間の休みとなります。殺伐とした世相の中で、①交通事故 ②不審者や変質者の出没 ③水の事故 ④熱中症等が心配されます。

保護者の皆様や地域の皆様のご協力で、子どもたちの安全・安心が確保され、9月1日（月）の始業式には、全員が心と体にエネルギーをいっぱい蓄えて登校できることを願っております。どうぞ、よろしく願いいたします。

＜大平西小学校の夏休みについての基本的な考え方＞

☆ 家庭や地域社会でいろいろな体験をして、楽しく充実した夏休みにしよう。(やさしい子)

☆ 健康や安全に十分気を付けて、事故のない生活をしよう。(つよい子)

☆ 1学期で身に付いた勉強の習慣を継続させよう。(考える子)

上記の基本的な考え方に基づき、現在、各学年で事前指導を行っているところです。また、昨年度と同様、登下校に関しては以下の通りお願いいたします。

夏季休業中の水泳指導日、図書貸出日、部活動等、児童が登校する日は、原則として徒歩です。通学路を通り、安全に登下校することをお家でもご確認ください。ただし、3年生以上の学年は、保護者の判断（体力や技能等）と責任のもとに許可する場合のみ、自転車での登下校を認めたいと思いません。その際、以下の点を必ず守らせてください。

- 1 ヘルメットをかぶり、通学路を通る。
- 2 寄り道をしない（途中で友だちの家や、商店・公園に寄るなどせず、一度家に帰る）。
- 3 安全な乗り方をする（信号無視、右側通行、スピードの出しすぎ等をしない）。

「学びのすがた」の見方について

『学びのすがた』は、学校における児童の学習や生活の様子を保護者に知らせ、学校と家庭との連携を密にし、教育効果を高めるためのひとつの記録です。学級における他の児童と比較するのではなく、児童一人一人のよさや可能性を伸ばすために、学年の学習・行動・特別活動等のめあてについて評価します。

なお、1年生は他学年と違い、1学期は学習や生活について、重点的に指導をしている事柄を評価します。この方が、1年生の児童にとって、具体的でわかりやすいと考えたからです。

大切なことは、単に「できた」「できない」ということで一喜一憂するのではなく、お子さんのがんばりを心から賞賛してあげてください。また、「もう少し努力しよう」という評価の場合には、今後、特に力を入れて取り組むよう励ましてください。保護者の方の適切な一言が、子どもたちの学習意欲を高めてくれることとなるでしょう。

なお、「学びのすがた」に書ききれない事柄などについては、夏休み中に実施する個人面談等でお伝えしたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

「学びのすがた」の配付・回収方法について

近年の情報機器導入により、『学びのすがた』は全国的にパソコン処理が主流となっているのが現状です。栃木市内の大部分の小中学校においても、パソコンで作成しております。

本校では、昨年度まで担任が手書きで作成した『学びのすがた』を配付してまいりましたが、教職員で協議した結果、本年度からパソコンで作成することになりました。今までの配付・回収方法と違って、以下のようになりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

◎1学期・・・1学期の成績を記入した『学びのすがた』を配付します。

1学期の認証欄に保護者印を押したものを、2学期の始業式に回収します。

◎2学期・・・新たな用紙に、1学期と2学期の成績を記入した『学びのすがた』を配付します。

2学期の認証欄に保護者印を押したものを、3学期の始業式に回収します。

◎3学期・・・新たな用紙に、全学期の成績を記入した『学びのすがた』を配付します。

その際、1・2学期の『学びのすがた』も一緒に配付します。お家で大切に保管ください。

安全な登下校のために・・・

「通学路」の見直しに関する話し合いを開催

本校では、地域社会全体で子どもの安全を見守る環境が整備され、「子どもを守る会」、PTA、育成会、自治会、キッズステーション等、実に多くの方々にお世話になっております。また、昨年度に発足した「登下校見守り隊」は、8つの自治会から、217名もの皆様にご協力をいただきました。本年度は、さらに人数が増えて、295名の方々にご協力いただくことになりました。

まもなく1学期が終了しますが、お陰様で、一件の事故・事件もなく、子どもたちは皆、元気に登下校することができました。毎日の見守り活動、ありがとうございます。特に、暑さの厳しい日、急な落雷や豪雨のときなどは、大変なご苦労だったと思います。地域の皆様方のご尽力に対しまして、心より厚く御礼申し上げます。

ところで、本校の通学路の中には、交通量の増加やガードレールの未設置、見通しの悪い道路、狭い歩道等のため、児童の安全確保が十分でない危険箇所があります。

そこで、昨年度の2月にPTA会長、関係の育成会長、自治会長、登下校見守り隊代表者、それに本校教職員で、通学路に関する話し合いを行いました。①下皆川1・2、②富田2・3・4、③中央町・富田1の三つのグループごとに、「通学路の現状と課題」等について協議しました。

その結果、多くの通学路で問題点のあることを確認することができました。いずれも、「交通安全」と「不審者対策」の両面から考えた貴重なご意見ばかりでした。ある育成会長さんからは、通学路見直しについて、育成会総会等で話し合っただけのご意見もありました。地域住民の方々のご意見などを参考に、通学路に関する話し合いを継続して行うことを確認いたしました。

学校では、夏季休業中に再度、関係の方々にお集まりいただき、通学路に関する第2回目の話し合いを開催したいと考えております。育成会長の皆様には、各地区で集約した意見を、ご提案いただきたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

1 日 時 平成26年8月4日(月) 15:30～

2 場 所 大平西小学校 会議室

3 内 容 通学路の現状と課題

4 参加者 育成会長及び登下校見守り隊代表者(富田1・2・3・4、下皆川1・2、中央町) PTA会長、学校関係者、下皆川地区民生委員等

